令和4年度（2022年度）くまもと県民カレッジ主催講座【後期】

農　業　コ　ー　ス

農業県くまもとのチャレンジと将来性
～これからどうなる？農業の未来～

豊かな自然のもと高い技術力により多様な農産物を育む農業県熊本。戦略的農業経営や、スマート農業等、県内の農業の現状を学び、豊かな農業資源の魅力を再発見しました。

第１回　農業県くまもとのこれから
～未来につながる魅力あふれるくまもと農業の実現～

熊本県農林水産政策課
審議員
福永　哲　先生

トマト、スイカ、デコポン、い草、宿根カスミソウ、カリフラワー…生産量全国1位！最新のデータをもとに、熊本県の農業の現状や施策を大きくとらえることができました。活躍する農業者の取組も紹介されました。

第２回　一歩先行く次世代農業先進県へ
～３つの視点でスマート農業を推進～

熊本県農業技術課
参事
泉　拓史　先生

農業従事者の高齢化などによる労働力不足にどう向き合うか、ドローンや自動運転トラクターなど、スマート農業技術を活用 して超省力、高品質生産を実現する、新しい取組について話されました。

第３回　先進農業者のチャレンジ
～資源循環型農業と次世代を担う人材育成～

セブンフーズ株式会社
代表取締役社長
前田　佳良子　先生

還暦で大学院生！活力あふれる前田先生による、国産飼料・動物福祉・エコフィード…SDGs３つの取組や、人材育成などを紹介されました。農業の未来について語り合うワークも盛況でした。

第４回　６次産業化で農産加工品の魅力アップ
～アグリビジネスの可能性を追求～

有限会社阿蘇健康農園
代表取締役
原田　大介　先生

「生産者である前に経営者であれ。」「基本“ことわらない”がモットー。」オランダなどの視察でも経験を積んだ原田先生。農業の6次産業化のノウハウや、地域に根差したアグリビジネスについて紹介されました。

第５回　発信でチャレンジ！農業女性の地域力
～地域コミュニティ力の昔と今～

お結びfarm
代表
藤原　美里　先生

幻となった先輩女性のおいしいお漬物がいつも心にあるという藤原先生。「いかに地域の活動を継承するか」を念頭に、くまもと農業経営塾などに積極的に足を運び、農業経営を可視化し整理された実績等、多岐にわたる活動を紹介されました。

▲第3回。セブンフーズでも常々、社員さんたちとディスカッションを行っている前田先生。受講生とも活発に意見が交わされました

▲第5回。お結びfarm　藤原先生が、ホウレンソウやラディッシュなどのお野菜をご持参。じゃんけん大会で盛り上がりました

受講生の感想

・実際にされている（経営等）方のお話はリアリティがあり、とても興味深かったです。農業についてこんなにも知らないことが多いのかと改めて感じました。道具の進化や情報化にともない農業（今回は消費者として）も新たな局面を迎えているのだと知ることができました。ありがとうございました。

・「あの人が作る漬物や味噌」など、将来に残すべきものが各地域にあると思います。伝統的なワザの継承は大事であると思いました。また、ご先祖様から受けついだ田、畑を後世に継承していくのも最重要と思います。

・就農者の声を聞かせていただいてそのご苦労もさることながら工夫の素晴らしさに驚きと感動を覚えました。さらに行動力という部分う部分にも、トライ＆エラーを繰り返し改善されていることもとても参考になりました。